

今後の取組の方向性について

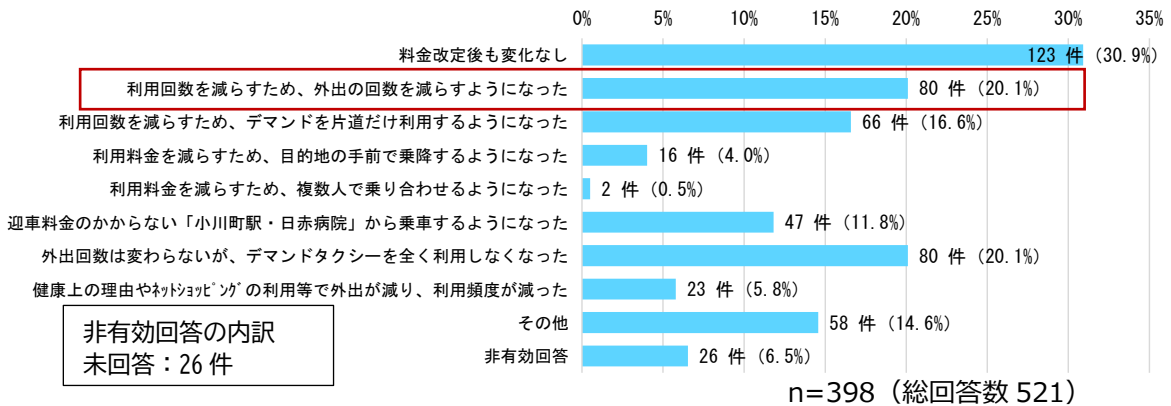
1 デマンドタクシー利用状況に関するアンケート調査から読み取れること

●『外出回数を減らしている』が最も優先度の高い課題

⇒70 歳代以上は「外出回数を減らしている」の回答割合が高くなっている。

⇒地区別にみると八和田地区が突出して回答割合が高くなっている。

【アンケート結果】「外出回数を減らしている」の回答割合



(年代別回答者数に占める割合)

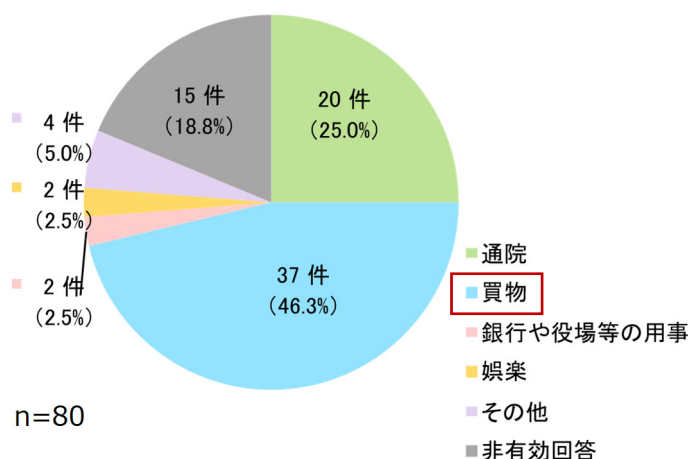
- ・ 60 歳代：13%
- ・ 80 歳代：22%
- ・ 70 歳代：19%
- ・ 90 歳代：29%

(地区別回答者数に占める割合)

- ・ 八和田：48%
- ・ みどりが丘：21%
- ・ 東小川：15%
- ・ 竹 沢：13%
- ・ 大 河：18%
- ・ 小 川：12%

●外出回数を最も減らしているのは『買物』

⇒70 歳代以上は「買物」の回答割合が高くなっている。



(年代別回答者数に占める割合)

- ・ 60 歳代：25%
- ・ 80 歳代：52%
- ・ 70 歳代：52%
- ・ 90 歳代：56%

2. 社会情勢等の変化から留意すべきこと

●地域公共交通の担い手不足や地域公共交通のリ・デザイン (再構築)

⇒行政・住民・事業者等の地域に関連する多様な輸送資源の活用や多様な分野との連携が求められている。

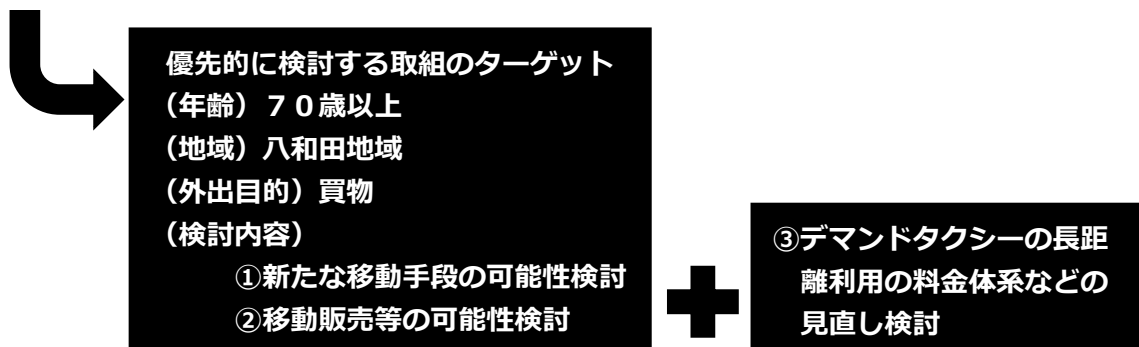
3. 課題解消に向けた取組の方向性

●課題解消に向けた取組として、以下が求められている

【アンケート結果】「自ら移動手段を持たない方に求められている取組」（上位3つ）

- ・デマンドタクシーの改善（料金の工夫）【回答数 77/398】
- ・新たな移動手段の導入【回答数 74/398】
- ・移動販売の充実や自宅診療などの充実【回答数 30/398】

【社会情勢等の変化】行政・住民・事業者等の地域に関連する多様な輸送資源の活用や多様な分野との連携



4. 対応策と検討スケジュール

対応策1：新たな移動手段の可能性検討

熊谷路線は運行しているものの、公共交通利用圏域外が広範囲であり、かつ、デマンドタクシーの料金改定に伴い利用料金が最も高い料金帯になり、外出機会の減少が顕著になっている「八和田地域」を対象に、買物に特化した新たな移動手段の可能性検討を行う。

検討にあたっては、日中稼働していない民間事業者等の送迎車両を含む、地域における輸送資源の活用方策も含めて、実施体制面での可能性を検討する。

(検討スケジュール)

項目		R8		R9		R10	
①	先進事例調査 事例都市ヒアリング						
②	実証実験案の検討（実現可能性の検討） 地域意向把握・意見交換						
③	実証実験の準備 （チラシ等作成、周知、利用登録手続き）						
④	実証実験						

対応策2：移動販売等の可能性検討

熊谷路線は運行しているものの、公共交通利用圏域外が広範囲であり、かつ、デマンドタクシーの料金改定に伴い利用料金が最も高い料金帯になり、外出機会の減少が顕著になっている「八和田地域」を対象に、民間事業者による移動販売の可能性検討を行う。

(検討スケジュール)

項目		R8		R9		R10	
①	先進事例調査 事例都市ヒアリング						
②	事業者ヒアリング 実現可能性の検討						
③	実証実験の準備（チラシ等作成、周知）						
④	実証実験						

対応策3：デマンド：長距離利用の料金体系の見直し検討

公共交通利用圏域（バス停留所から半径 300m、駅から半径 800m）に含まれず、かつ、小川町駅周辺拠点や各地域拠点から離れており、デマンドタクシーの利用が長距離となる箇所を対象に割引や価格帯の設定も含めた料金体系の見直しを検討する。

上記以外には、運行改善に向けて、利用が少ない時間帯の見直しや予約システムの導入、乗降場所の追加や変更などを検討する。

(検討スケジュール)

項目		R 8		R 9		R 10	
①	先進事例調査	■					
②	割引額の試算、運用方法の検討 事業者（小川観光タクシー）ヒアリング		■				
③	庁内調整			■			
④	周知				■		